

躍動する

インド世界の布

*The Vibrance
of Indian
Fabrics*

場をくぎり、人をつなぎ
神と人の媒介となり、政治をうごかし
グローバル経済をうみだす布

企画展 Thematic Exhibition

2021 木 2022 火
10.28 - 01.25

10:00-17:00 入館は 16:30 まで

休館日：水曜日（ただし、11月3日は開館、翌4日は休館）
年末年始（12月28日-1月4日）

会 場：国立民族学博物館 本館企画展示場

主 催：国立民族学博物館

協 力：MINDAS(南アジア地域研究 国立民族学博物館拠点)
公益財団法人千里文化財団



国立民族学博物館
National Museum of Ethnology

インドを中心とする南アジア世界において、布は時と場所、用途に応じて、あるいは宗教的規範や社会的慣習によって、用いられるかたちや色、文様が異なり、その扱われ方も場面ごとに明確に定められている。

これまでインドについては、一枚布を巧みに変形させて、多様にまとう着衣文化があることが注目されてきた。だがインドにおける布は、衣装としてだけではなく、人生儀礼における贈与や、神がみへの奉納、社会運動でのシンボルといった多様な役割を担っている。人びとは場面に応じて多種多様な布のなかから目的や機能に適したものを見、使い分けているのである。そのような人びとと布の多様な関係性は、多宗教、カースト制度、数百を超える言語といったインド社会の特質と深く結びついている。

インド世界の布は、場をくぎり、人をつなぎ、神と人の媒介となり、政治をうごかし、グローバル経済をうみだす。このように躍動する布の現場に光を当て、布の役割や機能を明らかにすることは、グローバル化が進む現代インドの社会や文化の持続と変容の動態をひととことつながる。本展示ではインド社会をつくりだしている人びとの営みを多彩な布とともに紹介する。

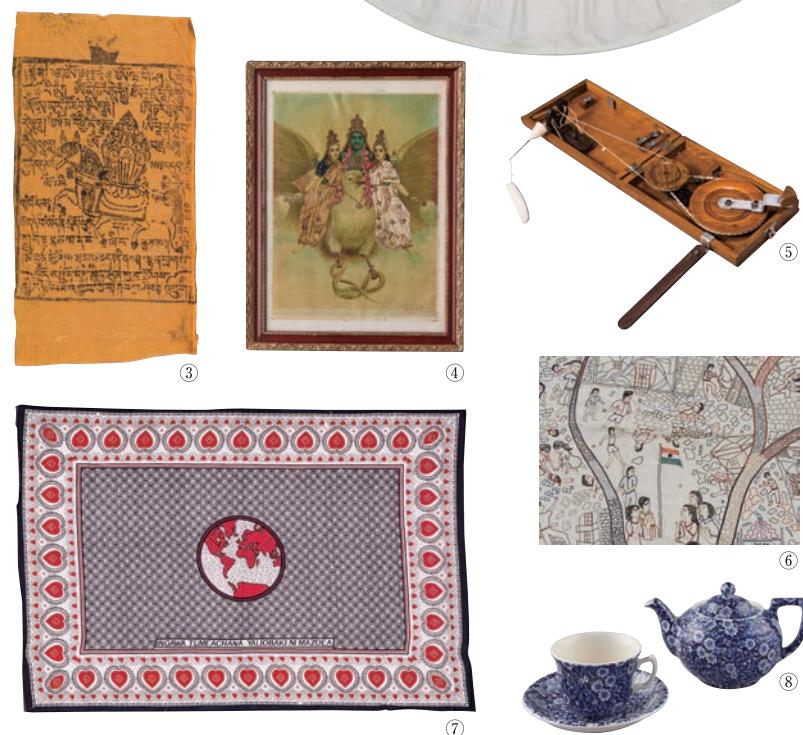
躍動する インド世界の布

*The Vibrance
of Indian
Fabrics*

企画展
Thematic
Exhibition

展示構成

- 1章 - 場をくぎり、人をつなぐ布
- 2章 - 神にとどく布
- 3章 - 政治をうごかす布
- 4章 - 布がうみだすグローバル経済



①戸口飾りトーラン インド グジャラート州 パーブナガル県 1978年収集 / ②女性用外套 パキスタン 1977年収集 / ③祈祷旗 インド 1981年収集 / ④衣装装飾版画 インド タミル・ナードゥ州 チェンナイ 1990年代収集 個人蔵 / ⑤携帯用紡ぎ車 インド グジャラート州 アフマダーバード 2013年収集 個人蔵 / ⑥《26-1-2001》アーダム・サンガル作 インド グジャラート州 カッサーンガン 2004年収集 個人蔵 / ⑦カンガルニア モンバサ 2000年収集 / ⑧イギリス・バーレイ社 ティーセット「キャリコ」イギリス 2016年収集 個人蔵

関連イベント

◆企画展関連クロストーク 11.13土 13:30-15:00

「布と空間デザイン インドの躍動感を伝える」

展示設計GENETOと企画展メンバーによる展示づくりの舞台裏を紹介します
登壇者：山中コージ・山下麻子（合同会社GENETO GROUP）、五十嵐理奈（福岡アジア美術館 学芸員）、上羽陽子（本館 准教授）、小関万緒（本館 企画課標本資料係職員）

司会：金谷美和（国際ファッション専門職大学 准教授）

要事前予約（先着順）、定員30名 ※オンライン配信のみで開催します

◆みんばくウイークエンド・サロン—研究者と話そう 各日14:30-

11.07日 「神と出会うために——礼拝儀礼布ピチュワリー」
豊山亜希（近畿大学 准教授）

12.05日 「カンガ!——アフリカの布?インドの布?」
鈴木英明（本館 准教授）

12.19日 「変容する舞踊衣装——擬態するカールベーリヤー」
岩谷彩子（京都大学大学院 准教授）

12.26日 「聖と俗——染色布で女神寺院をつくる」
上羽陽子（本館 准教授）

01.09日 「トライプ・アイデンティティとしての布」
岡田恵美（本館 准教授）

01.16日 「モーディー首相、サリーになる」
杉本星子（京都文教大学 教授）

※イベントに関する詳細はホームページをご覧ください

ご来館のみなさまへ

新型コロナウイルス感染症の予防のため、会期・イベント等を変更・中止する場合があります。
事前にホームページでご確認ください。またオンライン予約でのご来館にご協力ください。

◆開館時間 10:00-17:00(入館は16:30まで) ◆休館日 水曜日(ただし、11月3日は開館、翌4日は休館)
年末年始(12月28日-1月4日)

◆観覧料 一般580円／大学生250円／高校生以下 無料 ※観覧料割引についてはホームページでご確認ください。

※大学生・一般の方は万博記念公園各ゲートで、当館の観覧券をお買い求めください。園内は無料で通行できます。

※高校生以下の方は万博記念公園各ゲート有人窓口で、みんばくへ行くことをお申し出いただき、通行証をお受け取りください。

※「国立民族学博物館友の会」会員の方は、万博記念公園各ゲート有人窓口で、みんばくへ行くことをお申し出いただき、通行証をお受け取りください。

※万博記念公園をご利用になる場合は、同園入園料が必要です。

（交通のご案内）

◆大阪モノレール「万博記念公園駅」、「公園東口駅」下車徒歩約15分

◆バス 阪急茨木市駅・JR茨木駅から「日本庭園前」下車徒歩約13分

◆乗用車 万博記念公園「日本庭園前駐車場」(有料)から徒歩約5分

関西から

文化力
POWER OF
CULTURE



〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園10番1号
TEL:06-6876-2151(代) FAX:06-6875-0401
<https://www.minpaku.ac.jp/>



国立民族学博物館
National Museum of Ethnology